

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)

作品名 フォンテーヌブローの森の猟犬



NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 フォンテーヌブローの森の獵犬

種類 キャンパスに油彩(1856 年作)

サイズ 52.5×73.2cm

※左下にサイン

ディアズ・ド・ラ・ペニャの
カタログレゾネの別冊 (P113) でカラー掲載。
カタログレゾネ 3254 として掲載。

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章

バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)

作品名 バルビゾンの森の小枝拾い



NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 バルビゾンの森の小枝拾い

種類 キャンパスに油彩

サイズ 32×48.5 cm

※「Michel RODRIGUE」鑑定書 サインあり

本作品は1870年頃ディアズ63歳のころの作品です

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章

バルビゾン七星の一人と知られる

 **バルビゾンの風**

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 バルビゾンの沼地と木陰の光

種類 板に油彩

サイズ 44.5×65 cm

「Michel RODRIGUE」鑑定書

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章

バルビゾン七星の一人と知られる

 **バルビゾンの風**

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 バルビゾンの森の小枝

種類 板に油彩

サイズ 35×41cm

※証明書 Michel RODRIGE 証明書付き サインあり

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章

バルビゾン七星の一人と知られる

 **バルビゾンの風**

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 バルビゾンの森の獵犬

種類 格子パネルに油彩

サイズ 41.7×61.6cm

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュブレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章

バルビゾン七星の一人と知られる

 **バルビゾンの風**

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 誘惑

種類 板・油彩

サイズ 81.0×59.5cm

(額寸:100.0×78.8cm)

下にサイン P.Miquel,R.Miquel no2937 レゾネ掲載

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章
バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 花束 薔薇 アラセイトウ クレマチス

種類 格子パネルに油彩

サイズ 40.5×43.5cm

※証明書 Michel RODRIGE 証明書付き サインあり

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞 レジョン・ドヌール勲章を受章
- バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 宝石箱を持つジプシーの少女

種類 板に油彩 1855 年作

サイズ 26.7×34.9cm (仏5号)

ディアズ・ドラペーニャのカタログレゾネN°1773に記載
来歴 Knoedler Gallery(ニューヨーク)
Sothebys(ニューヨーク),1991年10月17日、Lot146

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞

バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 鳥籠を持つジプシーの少女

種類 キャンバスに油彩

サイズ 54.5×66.5cm (仏 15号)

ディアズ・ドラペーニャのカタログレゾネNo.2004に記載

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
この頃から風景画家として認められるようになる
- 1848 ファーストクラスメダルを受賞
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- 1881 【Legion d'honneur】を受賞

バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 風景

種類 板に油彩

サイズ 22.6×30.1cm (仏6号)

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 ヴィーナスと子供達(1858年作)

種類 パネルにキャンバス・油彩

サイズ 77.5×57.0cm (仏 25号)

ディアズカタロググレゾネ P481にNo.2932として掲載

※来歴 Sotheby's (ニューヨーク) 1986年 鑑定書付
右下にサイン。年記。

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去

バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 フォンテーヌヴローの森

種類 板に油彩

サイズ 31.5×40.4cm

※「Michel RODRIGUE」証明書付き

※ディアズカタログレゾネに作品掲載

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌヴローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌヴローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去

バルビゾン七星の一人と知られる

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 フォンテンヌブローの森の小川

種類 キャンバスに油彩

サイズ 45.7×63.5cm 仏15号

※Claude AUBRY 証明書付き

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去
- バルビゾン七星の一人と知られる

sNARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 祈り

種類 キャンバスに油彩

サイズ 21.5×16.5cm

※Michel Rodrigue 鑑定書付き

略歴 バルビゾン 七星の一人

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く (肖像、花、風俗画)
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 ふうけいだ
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 森の中

種類 キャンバスに油彩

サイズ 31.3×40.1cm

※ギャラリートロム証明書付き

※村内美術館証明書付き

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去